

令和3年度 第2回 公民館運営審議会 会議録

1 日時・場所 令和4年3月29日(火) 13時30分～15時00分  
三木市役所 5階 大会議室

2 出席者

<委員17名>

稲見秀行委員長 徳沢芳彦副委員長 蓬萊道龍委員  
川内正広委員 田中紀美代委員 猪坂克子委員  
藤枝直司委員 藤原敏行委員 大島あんず委員  
池澤絹代委員 大江実代子委員 富田進委員  
森岡元子委員 寺本善英委員 福島康之委員  
岡本貴美代委員 藤田均委員  
(欠席：梅田宏和委員、藤井泰子委員)

<事務局14名>

大北教育長(欠席) 本岡忠明教育総務部長  
河端康生涯学習課長  
前田信利館長 藤田敏行所長 大西真一館長  
中嶋健二館長 狩場泰治館長 友澤幸嗣館長  
金子高士館長 穂積正則館長 西馬英雄館長  
藤田良之館長 丸岡まや教育総務課政策係長  
中山経子公民館運営係主事

3 議題 各公民館事業実績及び来年度の活動方針について

4 公開・非公開の別 公開

5 傍聴人の数 0人

6 会議の概要

---

1 開 会 中山公民館運営係主事

2 あいさつ 稲見委員長

3 議 題

(1) 各公民館の事業進捗状況及び次年度の課題について  
(各公民館長説明)

(2) 地域まちづくりに関することについて  
(河端生涯学習課長説明)

(3) 令和3年度住民学習実施状況調べについて  
(河端生涯学習課長説明)

4 閉 会 徳沢副委員長

---

## 5 発言の内容

---

### 議題 (1) 各公民館の各公民館事業実績及び来年度の活動方針について

稲見委員長： 各館からの報告ありがとうございました。以上の報告を受けまして、質問・ご意見・提案などありましたらお願いします。どうでしょうか。

池澤委員： 吉川の池澤です。文化祭の準備についてお尋ねしたいのです。作品展示についてパネルや机の搬入設置を文化協会所属団体・まち協の団体・公民館職員で行っていましたが、高齢化に伴い準備が大変になり、団体から準備に参加できないから展示参加もやめようかという声があります。そして今、方法の模索をしています。他の公民館でのやり方についてお聞きしたいと思います。

大西館長： 別所町公民館の文化祭準備は、平日の夜に消防団20名が応援してくれ、片付けは、区長さんとまち協役員20名ほどで行い、高齢の方には参加いただいております。

金子館長： 緑が丘町公民館でも高齢化による準備困難対策として2つの対策をとりました。1つ目はテントの設営にあたり、公民館備品の重いテントを使わずに、折りたたみ式の広げるだけのテントをいろんなところから借り、当日の朝広げるようにしました。パネル設置はスポーツ系団体や有志にお願いしました。

西馬館長： 青山では、これまで登録団体の代表の方とまち協役員と職員で行ってまいりました。今年度は展示団体の代表だけでなく出られる人すべて、そしてまち協役員で展示の準備をしました。

狩場館長： 細川町公民館も同様で、力仕事はできないという要望があり、22地区の区長さんにお手伝いいただき、2グループに分かれ、文化祭展示パネル・机設置、藤原惺窩まつりの旗立てをしてもらっております。

西馬館長： 大事なことを忘れておりました。中学生の力も借りております。美術部20名の応援もありました。

藤田館長： 三木南交流センターでは、そういう心配の少ない備品が入っております。パネルは他の公民館より軽くてすべてキャスター付きで、パネルを組む必要がありません。

池澤委員： キャスター付きはいいですね。若い力をもってこられる、そういう声掛けを検討して案作りをしたいと思います。ありがとうございました。

稲見委員長： 他にありませんか。では私から一つ、昨年度もそうだったと思うのですが自由が丘公民館の48ページの1番の肯定的評価が90%以上とありますが、どういうアンケートだったのかお聞きしたいと思います。

穂積館長： 講座に参加された方に4つの項目で4段階アンケートしております。そのうちの「とてもそう思う」「そう思う」を肯定的評価としています。すべてが90%を超えていますので参加者は講座に納得して受けていただいたということでございます。

稲見委員長： 講座への評価がわかり、良いことと思います。なんとか測れるものがどこかにあればいいなと思います。ほかにご意見・ご質問はございませんか。

他になければ議題の2、3に入ります。2つのことに関して事務局から一括で報告してもらいます。

議題 (2) 地域のまちづくりに関すること、そして(3) 住民学習状況調べについて

河端課長： コロナ禍における生涯学習課の工夫

69 ページをお願いします。

地域のまちづくりに関することでございます。公民館においては地域団体と一体となり各種事業に取り組んでおります。今年度も新型コロナの関係で、例年どおりの取組はできませんでしたが、昨年度の経験を踏まえ感染対策を講じながら、工夫しての取組も見られました。

まちづくりよろず相談につきましては、221件ございました。昨年度は273件でした。ほぼ同じぐらいか若干少なめの件数になりそうです。広報に掲載されている内容など、各公民館で回答できた相談は、軽微なものとして計上しています。その他困りごとについては、各担当課へつなぎ、対処しております。

地域間交流でございます。大きな行事については地区役員等と協議の上中止としています。夏まつり、文化祭などほとんどが中止となりました。文化祭においては、展示部門、ステージ発表で声を出さずに実施した地区もございました。

地域防災訓練でございます。昨年度はほとんどが中止でしたが、今年度は人数を制限し、研修という形で実施して地区もございました。

各市民協議会活動でございます。これも地域間交流と重複する部分がありますが、中止とした行事が多くありますが、状況に応じ工夫して実施された行事もありました。

令和3年度の住民学習実施状況でございます。小規模開催や、DVDの回覧、ユーチューブ動画を各家庭で視聴するなど、昨年度の経験を踏まえ3密を回避しながら工夫して実施する地区もございました。

稲見委員長： (2)(3)の報告でした。各委員からお聞きしたいところがありましたらお願いいたします。

寺本委員： 報告を聞きながらいろいろやっていただき素晴らしいと思います。私もわからないのですが、どこでラインを引くかが難しいと思います。温もりあるコミュニティづくりは進めてほしいし、コロナ感染状況はあまり改善しないし、どうやって線を引くのか、お医者さんや国の通知があればなのか、インフルエンザのようにすべて治療できるようになればなのか、公民館活動が開始されると思うのですが、もう無理ではないかと思う不安感もあります。市としてどう判断するのかお考えを教えてくださいたいです。

河端課長： 市としての対応がだんだん変わってきています。当初は緊急事態宣言で休館になっていました。今は緊急事態宣言も発令されにくくなって、まん延防止対応になっています。公民館長会でも協議しながら一般利用はしなかったのですが、公民館主催事業については安全性を見て中止にさせていただきました。3月にまん延防止対応が延長されたときにも館長会でも意見が分かれたのですが、方針を変える理由がないので主催事業中止を継続しました。現在、主催事業は再開していますが、大声を出す活動やトレーニングジムなどは人数制限しております。他市でも同様の活動が衰退しないように工夫してやっています。他市の公民館の様子、尼崎市の様子を視察してもらっていますので、あとで報告させていただきます。参考にさせていただきたいと思いま

す。

稲見委員長： よろしいですか。答えが出にくいと思います。

蓬莱委員： 寺本さんが言われたように、ここ2年程いろんな行事が中止せざるを得なくなっています。そのに伴い区長やボランティアの方が2年間動いていない。次の方たちも行事のノウハウがわからない。そこで館長さんも変わったりすると動けなくなる。ノウハウを残していける方がうまく残るような方法がないのかと思います。

友澤館長： 幸いに口吉川町公民館では、区長さんやまち協役員では複数年担当しておられる方もおられますし、団体の代表にもそういう方おられます。

金子館長： 補足します。今、緑が丘では組織や事業の再編をやっています。その中でもその課題は大きなものです。対応としては経験のある方を何らかの形で残すようにしております。その方が必要な時に伝えていくとしております。

稲見委員長： ありがとうございます。三木地区には伝統的行事が多い、その中で今年区長さんたちが中心ですべて行っているのが難しいかなと思います。有志の参加を募っておられない現状かなと思います。行事やまち協に役職でなく個人でどう参加するかについては難しい部分があります。またこの問題は公民館運営審議会で協議することではないようにも思います。他ないですか。

徳澤副委員長： 私も思うのですが、そういうことはコロナ以前からどう継続していたと思うし、コロナ禍になりさらに参加者が減り、条件が悪くなっている。行政が公民館落とし公民館が市民に落とし、一つになって公民館を守っていこうするやり方だったのですが、やはり市民が公民館に足を運ばないと始まらない。そこで過去の交流や活動映像あれば見ていただき、今後の糧にさせていただく場を設け、一人でも少なくともいいので公民館に来ていただくことが必要だと思います。ユーチューブで見られる方はそれでいいですし、そうでない方には公民館に足を運んでいただいて、今までの古き良き公民館活動を見ていただきたい。それと学校関係、小中PTA、先生を巻き込む地域が一体となる企画を練っていただきたいと思います。

大江委員： 昨年と今年と比べて工夫の仕方がわかってきて1年で随分とできることが増えました。公民館での説明を聞いても昨年と今年は違うなと思います。引継の課題は大変だと思うのですが、子どもたちの作品が展示されないと子どもたちの足が離れますので、ユーチューブという工夫もありましたが、子どもたちが公民館から離れないようによろしくお願いします。

稲見委員長： 他にありませんか。なければ、4その他の市外施設視察報告に行きます。尼崎市公民館の活動についての発表をお願いします。

(視察報告)

稲見委員長： ありがとうございます。この報告を聞いて質問等ありましたら、お願いします。

長郷まち担： 質問がなければ、オンライン講座に参加してみたいかどうかでもいいのですが。

稲見委員長： オンラインを体験された方おられますか。2人おられますね。

寺本委員： 人が集まるオンライン講座、これはいいですね。お寺関係ではよく使います。しかしあくまでも救済措置です。現地で講話を聴く方とオンラインで参加する方と2つが並行している。参加者を増やすためです。オンラインを現地で見るものとZOOMで参加するものとの併用がいいと思います。公民館でも併用をやる方がいいと思います。

稲見委員長： 教育委員会は将来的にWi-Fi環境を考えていくということですか。

河端課長： 考えてはいます。いつできるかは確約できません。職員も研修を積み上げていきたいと思います。

稲見委員長： 教育委員会としても環境を整える方向性であると聞くだけでもいいですね。近い将来Wi-Fi環境が整って講座だけでなく、地域間交流にも使える。またそれ以外の活用を各公民館のアイデアと導きで地域を活性化する。環境があることでいろいろな使い方が生まれると思います。近い将来をお願いします。

河端課長： やっぱり発表にもありましたが、公民館は人に来ていただいてこそ、ふれあいでコミュニティを形成できると思いますので、社会教育である公民館は、ZOOMは非常手段、やっぱり皆さんが集う公民館がいいなと思いますので、早くコロナがなくなればいいなというのが願いです。

寺本委員： オンラインで全公民館を一人の講師で講演会というのはどうですか。

河端課長： いろいろな条件がありますので、今は判断が難しいです。

稲見委員長： いろいろな使い方の一つの可能性で、近い将来ということだと思います。その時にはまた、審議員に皆さんにご検討をお願いしたいと思います。お二人のかた、発表ありがとうございました。

---